

保護者様

京都市立洛央小学校
校長 鈴木 宏紀

令和6年度学校評価（前半）を振り返って

学校評価にご協力ありがとうございました。

令和6年度学校評価（前半）の集計結果をお知らせします。先日は保護者の皆様、児童（低、高学年別）、教職員による評価（振り返り）のアンケート（インターネットを利用した回答形式）にご協力いただき、ありがとうございました。

洛央小学校では、「人を大切に、心ゆたかに たくましく生き抜いていく子～協働的な問題解決力を育てる～」を教育目標とし、教育活動を進めています。今年度は昨年度と質問内容を変更して実施しています。今回の集計結果を真摯に受け止め、2学期以降の教育活動の改善に繋げていくように活用させていただきたいと考えています。

①子どもは、自分で（自分たちで）考えて解決しようとしていますか。（保護者）

新しいことやわからないことがあったとき、まず自分で（自分たちで）考えようとしていますか。（児童）

子どもたちが自分で（自分たちで）考えて解決するような取組をしている。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	27%	61%	11%	1%
児童（高学年）	53%	36%	8%	3%
児童（低学年）	56%	36%	6%	2%
教職員	24%	70%	6%	0%

②子どもは、友達と協力できていますか。（保護者）

いろいろな活動で、友達と協力して取り組んでいますか。（児童）

子どもたちが友達と協力できるように取り組んでいる。（教職員）

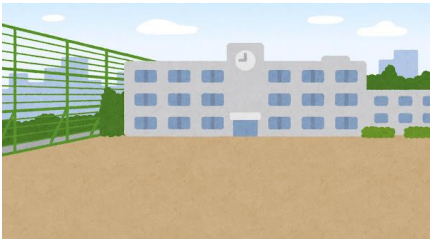
	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	31%	64%	5%	0%
児童（高学年）	60%	34%	4%	2%
児童（低学年）	69%	23%	6%	2%
教職員	38%	62%	0%	0%

③子どもは、進んで体を動かしたり運動したりしていますか。（保護者）

自分から進んで体を動かしたり運動をしたりしていますか。（児童）

子どもたちが進んで体を動かしたり運動したりするように取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	41%	37%	19%	3%
児童（高学年）	56%	25%	11%	8%
児童（低学年）	66%	23%	9%	2%
教職員	28%	63%	9%	0%



④家庭では、子どもが進んで学習に向かえるように声かけなどをしていますか。(保護者)

自分から進んで学習に取り組むことができましたか。(児童)

子どもたちが進んで学習に向かえるように取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	35%	55%	9%	1%
児童（高学年）	44%	40%	12%	4%
児童（低学年）	58%	34%	6%	2%
教職員	30%	70%	0%	0%

⑤家庭では、子どもが自分や人を大切にできるように声かけなどをしていますか。(保護者)

自分や友達を大切にできましたか。(児童)

子どもたちの自分や人を大切にできる心が育つように取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	44%	54%	2%	0%
児童（高学年）	66%	30%	3%	1%
児童（低学年）	79%	17%	3%	1%
教職員	37%	61%	2%	0%

⑥家庭では、子どもたちの健康を意識して生活リズムを整えるようにしていますか。(保護者)

健康に注意して生活できていますか。(児童)

子どもたちの健康管理について取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	41%	51%	7%	1%
児童（高学年）	49%	37%	10%	4%
児童（低学年）	68%	26%	4%	2%
教職員	42%	58%	0%	0%

⑦学校（学級）は、子どもたちが最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができるように支援していますか。(保護者)

最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができていますか。(児童)

子どもたちが最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができるように支援している。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	35%	59%	5%	1%
児童（高学年）	45%	37%	12%	6%
児童（低学年）	72%	19%	6%	3%
教職員	38%	60%	2%	0%

⑧学校（学級）は、子どもたちが自分から進んであいさつができるように熱心に取り組んでいますか。(保護者)

自分から進んであいさつをすることができましたか。(児童)

子どもたちが自分から進んであいさつができるように取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	34%	59%	5%	2%
児童（高学年）	49%	34%	10%	7%
児童（低学年）	69%	24%	6%	1%
教職員	34%	62%	4%	0%

⑨学校（学級）は、子どもたちが安全に過ごせるように安全指導（事故・事件・災害など）に熱心に取り組んでいますか。（保護者）

事故や事件などにあわないように安全に生活できていますか。（児童）

子どもたちが安全に過ごせるように安全指導（事故・事件・災害など）に取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	42%	54%	3%	1%
児童（高学年）	74%	22%	3%	1%
児童（低学年）	81%	15%	2%	2%
教職員	52%	44%	4%	0%

⑩学校（学級）は、子どものよいところを見つけたり、伸ばしたりしていますか。（保護者）

自分にはよいところがあると思いますか。（児童）

子どものよいところを見つけたり、伸ばしたりできるように取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	37%	57%	5%	1%
児童（高学年）	50%	29%	8%	13%
児童（低学年）	80%	15%	2%	3%
教職員	52%	46%	2%	0%

⑪学校（担任）は、子どもや保護者の質問や相談に熱心に応じていますか。（保護者）

困ったことがあるとき、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。（児童）

子どもや保護者の質問や相談に熱心に応じている。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	48%	48%	2%	2%
児童（高学年）	41%	32%	16%	11%
児童（低学年）	64%	25%	9%	2%
教職員	43%	57%	0%	0%

⑫子どもたちは、明日の学校を楽しみにしていますか。（保護者）

明日の学校を楽しみにしていますか。（児童）

子どもたちが明日の学校を楽しみになるように取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	42%	46%	8%	4%
児童（高学年）	52%	24%	12%	12%
児童（低学年）	77%	15%	3%	5%
教職員	42%	54%	4%	0%

【学校と家庭の連携に関して】

設問②「いろいろな活動で、友達と協力して取り組んでいますか。」、設問⑤「自分や友達を大切にできましたか。」に関して、90%以上の子どもが肯定的に回答しています。学校教育目標に『人を大切に』という言葉が入っています。目指す子ども像にも『自分も人も大切にできる子』を掲げています。学校教育目標については、朝会の場で話したり、教室に掲示したりするなどしています。また、ハートフル週間を設けて人を大切にするということについて考える機会を意図的に設けています。さらに設問⑤「家庭では、子どもが自分や人を大切にできるように声かけなどをしていますか。」で多くの保護者の方が肯定的に回答している点からも、子どもたちが人を大切にすることを意識して日々の生活を送ることができていると考えられます。引き続き、授業や学校行事などにおいて積極的に友達と協働する機会を設けるとともに、人を大切にするということについて子どもたちとともに考えていきたいと思ひます。



設問④「自分から進んで学習に取り組むことができましたか。」、設問⑦「最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができますか。」に関して、約 15%の高学年の子どもが否定的な回答をしています。一方、教職員や保護者の結果からは、子どもが進んで学習したり、あきらめずに課題に取り組んだりできるよう支援をしていることがわかります。学校では、授業中は一人一人の子どもを見取り、子どもの考えのよさを評価したり、わからないところについては個別に支援したりしています。しかし、家庭学習においては支援が十分でなかったことが考えられます。本校では各学年に応じて、自主学習等、国語・算数にとらわれない幅広い分野の取組を進めていくことで、子どもたちそれぞれが個々に興味・関心を広げていけるように意識して取り組んでいました。この度、夏休み中には2年生以上の学年で児童タブレットを持ち帰り、家で見守っていただきながら、課題を追究する取組も実施しました。さらに、同じ下京中学校ブロックでも、自主学習の力を育てていく計画を学校間で共有して進めているところです。今後も自主的に学びに向かう力を伸ばしていけるように指導を工夫していきます。ご家庭でもまた家庭学習等でお声かけ等のご協力をよろしくお願いします。

【学校での取組に関して】

設問⑧「自分から進んであいさつをする」ことに関して、高学年児童と低学年児童では 10%の差があり、特に高学年は昨年度と比べても 5%ほど、「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えている児童が増える結果となりました。一方で、「学校（学級）は子どもたちが自分からあいさつをできるように取り組んでいる」という設問について、保護者も教職員も 90%以上が「そう思う」「大体そう思う」と回答しており、高学年児童を中心に、あいさつの大切さについての指導は受けているが、まだまだ到達できていないと感じている子どもたちが多いこともわかりました。朝のあいさつにおいて、子どもたちは元気にあいさつを返してくれる子が増えてきています。普段からあいさつをされたとき、あいさつをして返すという意識は高まりつつあります。しかし、「自分から進んで」という言葉の通り、「人からあいさつをされる前に、先にこちらからあいさつができる」ことは、相手に親近感を抱かせ、コミュニケーションがとりやすくなるものです。今年度も児童会を中心にあいさつ運動を進めています。2学期以降も自分から進んであいさつができる、そんな子どもたちを育てていきたいと思っています。



設問⑨「事故や事件に合わないように、安全に生活できている」ことに関して、どの立場の回答者も 95%以上が「そう思う」「大体そう思う」と答えていました。この結果は、昨年度の同じ質問内容でも同程度の高い結果が見られ、継続して安全な生活を行おうとしている様子がうかがえました。学校では、実験や工作において器具を正しく扱ったり手順を確認したりすること、調理実習で火傷に注意すること、運動中に周りの様子を確認すること、廊下を走らずに歩くことなどを指導しています。また、交通安全に関しては、1学期の早い時期から、低学年を中心に、警察や地域の方による安全についての歩道歩行体験や人形劇鑑賞、自転車乗車体験を行いました。これらの積み重ねにより、安全面への大切さを子どもたちは感じているのだと思っています。しかし、つつい休み時間で気持ちが高ぶり廊下を走ってしまったり、友達との会話が弾んで歩道から外れてしまったりする子どもたちの姿を見かけることもあります。安全への意識をもって行動につなげられるように、引き続き指導をしていきたいと考えています。

高学年の子どもに注目すると、設問⑩「自分にはよいところがあると思いますか。」に関しては約 21%、設問⑪「明日の学校を楽しみにしていますか。」に関しては約 24%が否定的な回答をしています。また、設問⑫「困ったことがあるとき、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に関して、高学年の子は約 27%、低学年の子どもについては約 11%が「あまりそう思わない」「そう思わない」に回答しています。年齢を重ねるにつれて、子どもたちは自分のよさに自信をもちきれない様子が見られました。子どもはもちろんのことですが、どんな人もそれぞれキラリと光る素敵な力をもっているものです。その力を見つけ、伸ばしていくことを学校では大事にして取り組んでいます。学級での活動の中でも、「生き方探究パスポート」等を利用して、自分のこれまでの頑張りや、得意なことを見つめる機会を設定しています。教科等の学習でも、子どもたちが個々に全力で取り組んだことを見取り、ほめることができるように意識しています。2学期以降もスポーツフェスティバルやハートフル洛央などの大きな行事も予定しており、行事をやり遂げることで自分のよさに気付ける機会もあるはずです。自分の長所に自信をもつことは、これからの時代を生き抜いていく上で大切な力となります。引き続き、子どもたちの頑張りを認めたり、やり遂げたことをほめたりすることを通して、子どもたちが自分のよさに自信をもてるように、声かけをしていきたいと思っています。

一方で、過去の時代と比べ、子どもたちを取り巻く環境は日々変化しています。学校外で楽しんだり、便利に使ったりできるものがあふれています。しかし、そんな環境の中でも、学校でしか味わえない貴重な体験、身に付けられる力があると考えています。子どもたちがわくわくするような授業、友達との温かいふれあい、今しかできない全力で取り組むという経験。そんな学校が楽しいと思える授業・生活にできるように、教職員一同これからも工夫を重ねていきます。